

## 長岡市川口地区における地域通貨 を用いた地域循環・交流モデル

地域の明日を考える講演会

「北陸の再生戦略を考える」地域活動報告

2011.11.24

新潟県自治会館「講堂」

吉田昌幸(上越教育大学) yoshida@juen.ac.jp

1

### 報告内容

- 平成21-22年度にかけて行われた、社団法人北陸建設弘済会 北陸地域の活性化に関する研究助成事業 プロジェクトV「中山間地の活性化策を用いた課題解決手法の調査研究」の活動報告
  - 研究体制, 研究活動実績, 研究プロジェクトの成果
- 川口地区における地域通貨を用いた地域循環・交流モデル
- 平成25年度の試験流通実験開始を目指す長岡市川口地区での地域通貨導入へ向けての課題
  - 目的, 地域通貨の特性, 導入時の課題とその解決手法

## 「中山間地の活性化策を用いた課題解決手法の調査研究」研究体制

### ■共同研究者

朝岡幸彦(座長)  
東京農工大学 教授

小林雅裕  
石川県立大学 教授

小西英行  
富山国際大学 講師

山田昇  
長岡技術科学大学 准教授

吉田昌幸  
上越教育大学 講師

稲垣文彦  
中越復興市民会議 代表

### 山口壽道

(社)中越防災安全推進機構 事務局  
長

### 上村靖司

長岡技術科学大学 准教授

### ■事務局

(社)北陸建設弘済会 北陸地域づくり研究所

青木義男

須田敦司

大堀和明

(社)中越防災安全推進機構

諸橋和行

## 研究の背景と目的

### ■背景

- 中山間地域における集落機能の脆弱化
  - ・ 少子高齢化，人口流出による人口減少
  - ・ 集落自治や集落行事開催の困難
- 中山間地域に対する再評価
  - ・ 中山間地域：国土面積の65%，耕地面積の43%，農業集落数の52%
  - ・ 水源，自然環境，景観等の保全
  - ・ 地域社会の維持
- 中山間地域における地域づくりの取り組み
  - ・ グリーンツーリズム，二地域居住
  - ・ 地域活動への参加促進，地域の人材活用，地域内資源の発見と活用，外部との交流

## 活動内容

- テーマ：「循環」をキーワードとした中山間地域の活性化・課題解決に関する仕組みの検討
  - 平成21年度：中山間地域の活性化策としての地域通貨導入可能性とその効果の検討
    - ・長岡市山古志地区の視察
    - ・高知県の町での「モリ券」視察
    - ・滋賀県棚田ボランティアの視察
  - 平成22年度：アクションリサーチを通じた地域通貨導入調査
    - ・アクションリサーチ対象地区(長岡市川口地区)の選定
    - ・川口地区での住民意見交換会の実施
    - ・川口の将来を考える会の開催
    - ・川口5000人の大お茶飲み会の実施
    - ・地域通貨勉強会の実施
    - ・川口における地域通貨を用いた地域循環・交流モデルの構築

## 研究プロジェクトの成果(1)

### ■川口地区における課題と地域資源の顕在化

- 課題
  - ・高齢化に伴う孤独の解消
  - ・新しい若者の地域づくりへの参画
  - ・地域の諸団体、諸集落館の連携強化
  - ・地位全体の情報発進力強化
  - ・若い人が定住できる就労機会の創出
- 地域資源
  - ・豊かな自然
  - ・多様な施設(運動公園, 温泉等)の集積
  - ・各集落における様々な行事・イベント
  - ・人



住民が自ら考え行動するための組織の必要性

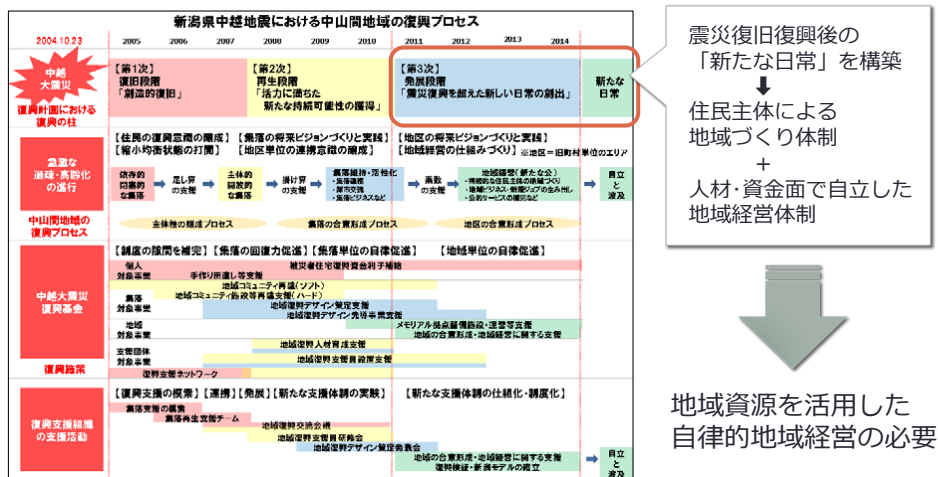
## 研究プロジェクトの成果(2)

### ■川口地区における中間支援組織のネットワーク

- 中越地震被災をきっかけとして、民間からの自発的な中間支援組織の設立(中越復興市民会議)
  - ・地域住民に寄り添い地域の実情にあったニーズを把握
  - ・行政機関との連携を通じて新たな活動を生み出す
  - ・地域の自助・互助に基づく自発的復興を進める
- 中間支援組織の活動を支える中越大震災復興基金
  - ・復興基金事業を通じて、復興時の支援ニーズや支援組織の多様性に適応した支援の仕組みが形成
  - ・被災地住民や集落の復旧・復興を支援するパートナーとしての中間支援組織の活動を資金面からサポート

### ■今後の課題

- 震災の復旧・復興過程で築いてきたの地域づくり体制を持続可能なものとするための「自立した地域経営体制」の確立



出所:<http://www.hces.jp/project/result/h22/report/2.pdf>

8

## 川口地区における地域資源発掘・活用のための四拠点(1)

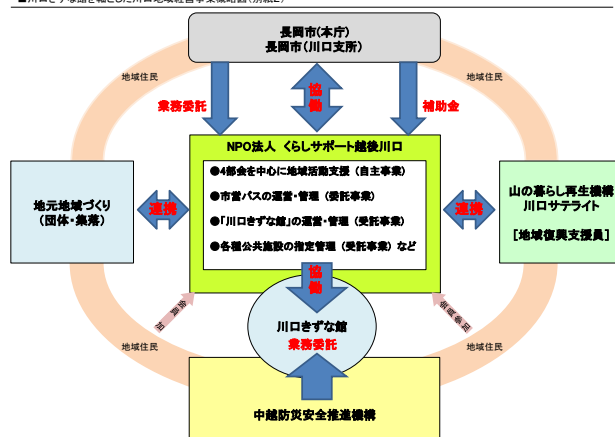
- 日常の経済生活拠点としての「東川口商店街」
  - 地元購買率の変化(H19新潟県消費動向調査)：衣料品5.8%，食料品27.1%，日用品15.3%，外食20.4%
- コミュニティビジネス拠点としての「あぐりの里」
  - 道の駅・物産館経営・農業推進事業を行う
  - 平成21年度売上高約2億円(うち農産物及び農産加工品9000万円)
- 公共施設・観光拠点としての「川口温泉・ホテル・運動公園」
  - 年間利用者数(H20) 川口温泉:約17万人，ホテル:約1.6万人

9

## 川口地区における地域資源発掘・活用のための四拠点(2)

- 人材・情報の蓄積・発信拠点としての「きずな館」
  - NPO法人「暮らしサポート越後川口」(H23年10月設立総会開催)

■ 川口きずな館を軸とした川口地域経営事業概略図(別紙2)



- 地域住民が自ら運営に参画し、町づくりに携わる組織を目指すNPO法人
- NPO法人の活動拠点として「きずな館」
- オープン初日(10/23)入館者約3千人，年間1万人を目指す

